

読書活動推進NEWS

福島県教育庁南会津教育事務所 総務社会教育課

ビブリオバトル福島県大会 会津地区予選会

10月17日(日)会津美里じげんプラザにおいて、「第7回ビブリオバトル福島県大会会津地区予選会」が開催され、会津・南会津域内などから7名の高校生バトラーが出演し書評合戦が繰り広げられました。

南会津域内からは福島県立田島高等学校から 山口 旺雅 さんが初出場し、発表順を決める抽選では最後の7番目にくじを引き、なんと「1」を引き当て(1番くじは最後まで残っていました)トップバッターを務めました。ただでさえ緊張する状況の中、山口さんは堂々とした態度と豊かな表現で発表を行いました。



【開会前の緊張の出演者のみなさん】



【身振り手振りを交えての発表をする山口さん】

会津地区予選会の結果

優勝(チャンプ本)※県大会出場!

『左手一本のシュート』著: 島沢 優子

優秀賞『15歳のテロリスト』著: 松村 涼哉

『ガラスの城壁』著: 神永 学

※県大会 11月20日(土)於 とうほうみんなの文化センター
中学生の予選・決勝 高校生の決勝が行われます。

山口さんの紹介本

『カラスの親指』 著者: 道尾 秀介 (講談社)

人生に敗れ、詐欺を生業として生きる二人組。ある日、彼らの生活に一人の少女が舞い込みます。やがて同居人は増え、5人と1匹に。他人同士の奇妙な生活が始まりますが、残酷な過去から彼らは逃れられません。各々の人生を懸け、彼らが企てた大計画とは……。

(講談社紹介より)

発表後の質問タイムで「この本との出会いは?」と聞かれた山口さんは、「そもそもカラスには親指はないはず…」と思い、手にしたと応えました。タイトルの奇妙さにひかれたのでしょうか。また、本の装丁にある”くしゃくしゃの紙幣” ”どんでん返し” など、観戦者を引きつけるキーワードを駆使し、発表も質問の応答も落ち着いて話すことができました。発表5分、質問タイム2分の7分のバトル、お疲れ様でした。

